

開講年次・時期	2年前期	授業回数	15回	時間数	30時間	必修・選択	選択	授業形態	演習	単位数	2単位
---------	------	------	-----	-----	------	-------	----	------	----	-----	-----

科目コード	CB230	科目名	ビジネス英語	担当者名	江口 真理
授業の概要	観光客を含めた人の往来のボーダレス化やビジネスのグローバル化を受け、県内でもビジネスの場面で英語を使うことのできる人材へのニーズがますます高まっている。本科目では基本的なビジネス場面における英語表現を学ぶと共に、特にインバウンドビジネスで活躍できる人材の育成を意識して、青森県の観光資源について現場研修とグループワークとを併せて学ぶ。				
科目の到達目標	ビジネス英語の基礎表現を覚え、それらを表現できるようになること。 青森県の観光資源について、自らの考えを英語で表現・発信できるようになること。				
DPの観点	②表現力 ⑥専門知識・技能 ⑨主体性				
授業時間外学修(予習・復習)	授業内容について該当するテキストの箇所の予習・復習や、指定されたトピックについての英作文ライティングを30分程度行う。				
フィードバックの方法	課題提出及び添削をメールで行う。				
単位認定の要件	課題の提出、グループワークへの参加、授業への積極的な参加				
評価の方法・割合(%)	単位認定試験(レポート、発表など)70%、受講態度 30%				
履修上の注意事項					

回数	予定	実施	テーマ・内容	観点	方法
1			・挨拶や簡単な質問に使う表現	②⑥⑨	・ガイダンス&講義:Unit 1&2
2			・電話対応で使う表現	②⑥⑨	・講義:Unit3&4
3			・状況を説明するための表現	②⑥⑨	・講義:Unit 5
4			・約束を取り付けるための表現	②⑥⑨	・講義:Unit 6
5			・提案をする時の表現	②⑥⑨	・講義:Unit 7
6			・グループワーク:青森の魅力的な地域資源について	②⑥⑨	
7			・ゲストスピーカーとのコミュニケーション	②⑥⑨	
8			・招待をする時に使う表現	②⑥⑨	・講義:Unit 8
9			・日常会話で使う表現	②⑥⑨	・講義:Unit 9
10			・場所を伝える表現	②⑥⑨	・講義:Unit10・グループワーク:青森について英語で説明
11			・道案内の表現	②⑥⑨	・講義:Unit11・グループワーク:青森について英語で説明
12			・使用方法を説明する表現	②⑥⑨	・講義:Unit12・グループワーク:青森について英語で説明
13			・宿泊施設で使う表現	②⑥⑨	・講義:Unit10・グループワーク:青森について英語で説明
14			・青森の魅力的な資源について(グループ)	②⑥⑨	・講義:Unit13・グループワーク:青森について英語で説明
15			・インバウンド向け起業プランについて(個人)	②⑥⑨	・講義:Unit10・グループワーク:プレゼンテーション
期末試験			試験終了後、授業時間内に振り返り学習を行う。		

使用テキスト	First Steps to Office English
参考文献 参考URL	富士箱根ゲストハウスの外国人宿泊客はなぜリピーターになるのか? 高橋正美(著)
備考	進行状況により、授業のテーマ・内容は変更になる場合がある。

DPの観点	①聴く力②表現力③柔軟性④協調性⑤社会性⑥専門知識・技能⑦思考力⑧実践力⑨主体性⑩問題解決力
-------	--

授業の自己評価	
---------	--